

第八十六回  
帝國議會  
貴族院

所得稅法外十六法律中改正法律案特別委員會議事速記錄第五號

付託議案

○所得稅法外十六法律中改正法律案  
○地方稅法及地方分與稅法中改正法律案

昭和二十年二月六日(火曜日)午後一時三十分開會

○委員長(伯耆林博太郎君) ソレデハ、開會ヲ致シマス、初メニ中上ガテ置キタイノデスガ、此ノ前、質問ハモウ終結シタケレドモ、尙御熱心ニ、橋本君並ニ梅園君カラ御質問ヲシタイト云フコトデアリマスカラ、此ノ場合一ツ御二方ニ質疑ヲ御許シ致シタイト思ヒマス

○橋本辰二郎君 私ノ質問ハ、出來ルナラバ事務的ノ御答辯ヨリモ、寧ろ懇談會的ノ御答辯ヲ實ニ希望スルノデアリマス、餘リ固クナラズニ、鹿爪ラシキ言葉ヲ避ケマシテ、御尋ネ致シタイト思ヒマスノデ、ドウゾ御答辯モ成ルベクオ手柔カニ御願ヒシテ置キマス、去ル三日デゴザイマシタカ、大臣ハ此ノ相續稅ヲ創設シタノハ若槻禮次郎サング主稅局長デアリシ時代デアツタカノヤウニ仰セラレマシタガ、左様デゴザイマシタラウカ

○國務大臣(石渡莊太郎君) 大體、左様デアルト承知致シテ居リマス

○橋本辰二郎君 然ラバ若槻サノハ相續稅ニ付テ、斯ウ云フ御意見ヲ御持チニナツテ居リ、又サウ云フコトヲ聲明セラレタヤウナコトヲ承ツテ居ルノデアリマス、ソレハ、相續稅ノ對象トナルモノハ、相續財產全部デアアル、併

シナガラ此ノ全部ニ對シテ課稅スルト云フコトハドウカト思フ、ソレデ先ヅ是ハ七掛位ガ妥當デハナカラウカ、要スルニ、百萬圓ノ財產ガアリトセバ、之ヲ七十五萬圓ト云フモノヲ課稅標準トシテ之ニ相續稅ヲ適用スル方ガ宜シカラウト云フヤウナ御意見ヲ御持チニナツテ居リ、此ノコトハ公開ノ席ニ於テモ聲明セラレテ居ツテ、大藏省關係ノ方ハ能ク御承知ノヤウニ承ツテ居リマス、又其ノ當時ニ於キマシテハ、當時ト申シマスノハ相續稅ヲ創設セラレマシタ當分ノ間デスガ、矢張りサウ云フ課稅ノ方法ヲ御執リニナツテ居ツタト云フコトヲ承リマシタガ、今日ニ於テハ所謂根コソギニ課稅セラレテ居リマスガ、其ノ取扱振リニ付キマシテノ御説明ヲ煩シタイト思ヒマス

○國務大臣(石渡莊太郎君) 若槻君御ガ、相續稅ニ付テ七掛程度ノ課稅標準ヲ以テ課稅スベシト云ハレタト云フコトハ、私ハ能ク伺ツテ居リマセヌ、從ツテ若槻君御ガ左様ナ御考デアアルカドウカハ能ク存ジマセヌガ、今稅務署デ課稅致シテ居リマスノハ、今アナタノ仰シヤツタヤウ大、財產根コソギ課稅主義デアアルカト云フト、決シテ根コソギ課稅主義ト云フ譯デアゴザイマセヌ、勿論、總テノ稅ニ於テ左様デアリマスガ、多少ノ餘裕、含ミト云フモノハ持ツテ、課稅ヲ致シテ居ルト思フノデアリマス、又左様ニ致スベキモノデアアルト存ジマス、或ハ此ノ課稅標準ノ中カラ、元ハ百五十圓トカ二百圓トカ云フ一定ノ金額ヲ引イタコトモゴザイマ

ス、是ハ所得稅デモヤツテ居ツタコトガアリマス、併シ一定ノ金額ヲ引イテ稅率ヲ適用スルト云フノデ、結局稅率ノ問題ニナツテ來ルノデアリマスカラ、課稅標準カラ或金額ヲ引イテ高イ稅率ヲ適用スルト、課稅標準一杯デ低イ稅率ヲ適用スルト、結果ニ於テ同ジト云フコトニナルノデアリマスカラ、此ノ頃ノ稅法ニ於テハ出來ルダケ金額ヲ引クト云フコトヲ止メマシテ、稅率ニ依ツテ按配ヲ致シテ居ル譯デアリマス、決シテ一杯々々全部取ルト云フヤウナコトハヤツテ居ライ積リデ居リマス

○澤田牛麿君 議事進行ニ付テ、大變餘計ナコトヲ申上ルヤウデスガ、今度ノ委員會ニハ相續稅ノ問題ハ議題ニナツテ居ラヌノデヤナイデスカ、ナツテ居ルノデスカ、若シ議題ニナツテ居ラヌノラバ、成ルベク時間ヲ短カクシテ戴キタイ

○委員長(伯耆林博太郎君) 議題ニナツテ居ラヌヤウデアリマスケレドモ、稅制一般ニハ關係ガアルカラ、矢張り質問ガ關聯サレテ居レバ宜クハナイカト思ヒマス

○橋本辰二郎君 只今若槻サノノ聲明ニ付キマシテハ、大臣ハサウ云フコトハ承ツテ居ラヌト云フ御話デアリマスガ、私ハ確カニサウ云フ聲明ハアツタト云フヤウニ聞イテ居リマス、併シトチラニ致シマシテモ、是ハ稅率ヲ下ゲルカ、若シクハ稅率ヲ上ゲテ手加減ヲ加ヘルカト云フコトデアアルコトハ、大臣ノ御答辯ノ通りデアラウト思ヒマ

ス、ソレハマア、ソレト致シマシテ、其ノ次ニ伺ヒマスノハ、相續稅ニ付キマシテ其ノ課稅ノ決定後ニ非常ナ經濟界ノ變動ナドガアリマシタ時ニ、此ノ決定額ヲ訂正セラレマシタル例ガゴザイマセウカ

○國務大臣(石渡莊太郎君) アリマセウ

○橋本辰二郎君 如何ナル場合ニ於キマシテモ、訂正ヲ行ハナイト云フ御意向デゴザイマセウカ

○國務大臣(石渡莊太郎君) 左様デアリマス、ソレハ非常ニ殘酷ノヤウニ聞エマスガ、相續稅ト申シマスモノハ、相續ノ開始シタ時ニ、時價デ其ノ稅金ヲ納メルベキモノデアリマス、從ツテ之ヲ七年間ニ分納スルト云フコトハ、一種ノ相續稅ヲ納メ易クスル爲ノ期間デアリマシテ、一時ニ納メルノヲ延期シテ居ルダケノコトデアリマシテ、相續ノ開始シタ時ニ、時價ニ依ツテ其ノ時ニ一時ニ納メルト云フノガ、相續稅ノ建前デアリマス

○橋本辰二郎君 理窟ハアナタノ仰シヤル通りデアリマス、併シナガラ是ハ裁判ノ判決ノ如キモノトハ違ヒマシテ、行政上ノコトハ、多少ノ其處ニ斟酌ト云フカ、人情ト云フカ、温情ト云フカ、サウ云フコトガアツテモ宜クハナイカト私ハ考ヘマス、一例ヲ舉ゲマスト、或學者ガアリマシテ書籍ヲ著ハシマス、之ノ出版ノ或者ニ託スル、サウシテ此ノ印稅ガ相當額ニ上ツテ、主タル收益トナツテ居ツタ場合ガアリト致シマス、然ルニ大東亞戰爭ノ如キ

モノガ勃發致シマシテ、紙ノ窮屈ヨリシテ其ノ本ノ出版ガ出來ナイト云フコトニナリマス、其ノ印稅ノ收入ト云フモノハ殆ド皆無ニナリマス、處ガ、其ノ印稅ニ對シテノ相續財產ノ評價ト云フモノハ非常ニ高イモノニナツテ居リマシテ、相續財產ノ大部分ヲ占メテ居ルト云フ場合ガアリト致シマシタナラバ、忽チ其ノ相續人ト云フモノハ相續稅ヲ納メル所ノ收入ガ皆無ニナリマシテ、其ノ七年ノ分納ニ應ズルコトガ出來ナイヤウナ場合ガ現ニアリ得ルト思ヒマスガ、サウ云フ場合ニ於キマシテモ、之ニ付テ何等ノ斟酌ヲ加ヘナイト云フ御考デアリマスガ

○國務大臣(石渡莊太郎君) ソレハ已ムヲ得ナイト思フノデアリマス、當テノ場合ニ於キマシテモ、十五銀行ノ株ノ評價等ニ付キマシテ、十五銀行ガ一朝ニシテ株價ガ十分ノ一ニモ十五分ノ一、或ハソレ以下ニ落チタコトモアルノデアリマス、左様ナ場合ニ、其ノ相續開始シタ當時ニ於テ、左様ナ株ガ相當價值ヲ致シテ居ツタモノトシマスレバ、其ノ當時ノ價值デヤルコトニナリマス、相續開始後ニ於テ暴騰スルヤウナモノモアリマス、又ハソレハ七年間ノ年賦延納中ニ暴騰シタ價格ハ、加ヘテ居リマセヌ、其ノ七年間ニ如何ニ金ヲ儲ケマシテモ、其ノ財產ト云フモノハ相續財產ニ加ヘテ居リマセヌ、其ノ日ノ時價デ行クノデアリマスカラ、從ツテ如何ニ下ラウト、如何ニ上ラウト、其ノ後ニ起ツタコトハ已ムヲ得ナイコトト御諦メヲ戴クヨリ仕方ガナイ

カト存ジマス

○橋本辰二郎君 アナタノ仰シヤルノハ、ソレハ私カラ申シマスレバ所謂理窟デゴザイマシテ、ソレハ其ノ通りデアリマスガ、併シナガラ斯ウ云フコトハ御考ニナツテハドウデアリマスルカ、相續事故ガ直チニ發生シタ日ヲ基準トシテ、ソレニ依ツテヤルト云フコトデアリマスガ、相續財産ヲ決定スルノニハ、大財産家ニ付キマシテハ矢張り二年ハ掛ルノデハナカラウカ、小サイ財産家ニ付キマシテモ一年ヤソコラハ掛ルト思ヒマスルガ、決定ノ時ニ於テ其ノ財界ノ趨勢ト多少ノコトヲ御考ニナリマシテ、或場合ニ於キマシテハ財界ガ非常ニブームヲ來シテ、有價證券ノ如キハ暴騰シタト云フ場合ニ於キマシテハ、多少財産ノ評價ノ上ゲル、若シクハ其ノ反對ニ非常ニ「デフレーション」ニナル場合ニ於キマシテハ、有價證券ハ暴落スル、是ハ將來此ノ財産ヨリ生ズル收入ヲ以テ稅ヲ納メルコトハ出來ナイカラ、其ノ場合ニ於テハ斯ウ云フコトニシヨウト云フヤウナ、ソコニ多少取扱ニ加減ヲ加ヘルト云フコトハ、大藏省ノ御考ヘ次第ニ於テ出來ルコトデアツテ、其ノ方ガ實情ニ適スルノデハナカラウカト思ヒマス、若シモ非常ニ景氣ノ悪イドソ底ニ自分ノ父ガ亡クナツタト致シマスト、ソレカラ段々有價證券デモ騰貴スル場合ニ於テハ、相續財産ノ價值ガ増シマスルノデ、遺產相續人ハ非常ニ好イ結果ヲ來スノデアツテ、ウチノ親父ハ非常ニ好イ時ニ死ンデ吳レタト云フヤウナ考ヲ起スカモ知レヌ、又之ニ反對シテ、多クノ負擔ヲ掛ケマシテ、サウシテ其ノ收入ヲ以テ到底稅ヲ納メルコトガ出來ナイヤウナ場合ニ於テハ、

ウチノ親父ハ實ニ我々遺族ニエライモノヲ遺シタト云フヤウナ考ヲ起サナイトモ限リマセヌシ、サウ云フコトガアルト云フコトハ、日本ノ國民性カラ見マシテモ、如何ニモ遺憾ノ至リデアリマス、要スルニ決定ノ場合、前途ノ財界ノ狀況ヲ能ク見透サレマシテ、餘リ納稅者ニ非常ナル苦痛ヲ與ヘヌヤウナ取扱ト云フコトニ付テノ御考慮ガアツテ然ルベキデハナイカト思ヒマスルガ、サウ云フコトニ付キマシテノ御考ハアリマセヌカ

○國務大臣(石渡松太郎君) 今橋本サシノ仰シヤツタコトハ、ソレハ實行ハムツカシイト存ジマス、財産稅ト云フモノハ一體左様ナモノデアリマシテ、是ハ單リ相續稅バカリデハアリマセヌ、普通ノ財産稅ニ於テモ、何月何日現在ト云ツテ財産ヲ押ヘルヨリ外ニ、財産稅ノ課稅ノ仕樣ガアリマセヌ、其ノ日ノ現在ニ於ケル所ノ財産ヲ調ベルコト自體、其ノ財産ノ價值ヲ調ベルコト自體ガ非常ニムツカシイノデアリマスノデ、相續稅ガ自然運レ勝テニ相成ツテ來テ居ルコトモ、今アナタノ御述ベニナツタヤウナ實情ニアルト存ズルノデアリマス、デ、ソレニ對シテ更ニ其ノ後ノ狀況如何ニ依ツテ財産ヲ加ヘテ見タリ、引イテ見タリシテ居ツタノデハ、油モ財産ノ價值ト云フモノハ判斷致セルモノデゴザイマセヌ、從ツテ左様ナコトハ相續稅創設以來四十年、其ノ間ニ色々ナル景氣ノ起キ伏シガアリマシタガ、左様ナコトハ一回モヤツタコトハゴザイマセヌ、又今後モ恐ラクハヤルコトガアルマイト思ツテ居リマシテ、アナタノヤウナ御考デハ相續稅ノ賦課ト云フモノハムヅカシウゴザイマス

○橋本辰二郎君 相續稅ニ關スル御意向ハ承リマシタ、承知シマシタ、次ニモウツ御伺ヒシタイノデスガ、土地差益稅デアリマスガ、大藏省トシテ是ハ確力讓渡利得トカ云フコトニ仰シヤツテ居ルサウデアリマスガ、是ハ何デモ不動産ヲ賣却シタ場合ニ於キマシテ、其ノ原價、若シクハ昭和十一年ノ稅務署ノ調査ニ依リ評價ヨリ高イ部分ニ付キマシテハ、讓渡利得トシテ課稅ヲセラル、コトニナツテ居リマス、其ノ稅額ハ頗ル重イノデアリマシテ、十萬圓迄ハ確力三割ト思ヒマス、二十萬圓以上ハ四割五分、三十萬圓以上ハ六割ト云フコトニナツテ居ルヤウデアリマスガ、是ニハ當時ヨリ納稅者ニ於キマシテ非常ニ苦痛ガアリ、又實際上課稅ヲスル側ニ於キマシテモ、餘リ酷デハナイカト云フヤウナ意見ヲ持ツ人モアルカノヤウニ仄ニ聞イテ居リマスルガ、處ガ、是ハ矢張り地方々々ニ依リマシテ、其ノ取扱振リヲ異ニシテ居ルヤウニ聞イテ居リマスルガ、實際土地ニ依リマシテ、之ヲ稅法通りニ一律ニ御施行ニナツテ居リマセウカ、又ハ多少ノ手加減ヲ施シテ居ラレルノデアリマセウカ

○政府委員(田中豐君) 稅法通りニ施行致シテ居リマス

○橋本辰二郎君 サウ致シマスルト、是ハ課稅ノ面デモアリマセヌシ、其ノ賣上額ニ付キマシテハ、地方ニ於キマシテハ八割ノ公債ヲ持テト云フコトヲ地方廳ヨリ強要セラレルヤウニナツテ居リマス、デ、斯ウ云フコトニナリマスト、例ヘバ、二十萬圓ノ原價デアリ、昭和十一年ニ於テ十萬圓ノ評價ノセラレタモノヲ、今日ニ於キマシテ之ヲ四十萬圓ニ賣却スルト致シマス、處

ガ、此ノ四十萬圓ト云フモノハ、四倍ニ賣ツタト云フコトニナリマスルケレドモ、今日ノ通貨ノ價值ヨリシテ見マスレバ、決シテ是ハ不當ナ値段デアリデアリマス、例ヘバ、白木綿一反ガ、昭和十一年頃ハ八十錢位デアリマシタガ、今日デハ四、五圓モ致シテ居リマス、デ、總テノ物價ガ四五倍ニナツテ居リマスカラ、不動産モ之ニ準ズルトスレバ、決シテ無理ナ値段デアリナイデアリマス、又ソレハソレトシテ之ニ課稅セラレル場合ニ於キマシテハ、十萬圓迄ハ三割、ソレカラソレヲ超過スルモノハ四割五分ト云フコトニナリマス、臨時利得稅ト云ヒマスカ、ソレダケデモ十二萬圓ニナリマス、四十萬圓カラ十二萬圓ヲ引キマスト二十八萬圓デアリマスガ、之ニ公債ヲ八割持テト云フコトニナルト四十萬圓ノ八割、三十二萬圓ニナリマシテ、丁度實際ノ手取りカラ見ルト、公債ヲ四萬圓ダケ餘計持タナケレバナラヌヤウニナリマシテ、非常ニ土地ヲ賣ツタ者ハ困ルト思ヒマスガ、之ニ付テ、何トカ一ツ緩和策ヲ執ル御考ハアリマセヌカ

○政府委員(田中豐君) 御話ノ如ク讓渡利得稅ハ、實際ノ取得價格ガ昭和十一年以後ニ取得シタモノニ付キマシテハ實際ノ取得價格、十一年以前ニ取得シタ不動産取得ニ付テハ、十一年末ニ於ケル取得ト、今回新タニ取得シタ價格ヲ課稅標準ト致シテ居リマス、併シナガラ、例ヘバ昭和十一年以前ノ場合ニ於キマシテハ、超過額ニ百分ノ五ヲ加ヘマスルカ、或ハ一定ノ控除額ヲ致ストカ、又最近ノ不動産讓渡ノ如ク政開ガ必要デアルトカ、或ハ公共ノ用ニ供スル爲ニ、色々土地家屋ヲ賣ルト

云ツタヤウナ場合ニハ、又輕減ノ規定ガアリマスガ、今回ハ三割輕減スルト云フ規定モアリマシテ、御話ノ如ク十萬圓、四十萬圓ガ直チニ三十萬圓ニハナリマセヌデ、其ノ間相當ノ輕減ガアリマスガ、假ニ三十萬圓トシテモ、御話ノ如ク相成リマシタ場合ニハ、四十萬圓ニ對シテハ公債八割ヲ割當テルノハ、是ハ酷デヤナイカト云フノハ御尤モナコトデアリマス、左様ナ場合ニ於キマシテハ、是ハ公債ハ法律的ナモノデアハナク、一應慣習ニ依ツテ居ルノデアリマスガ、税金等ヲ納メマシタ殘額ノ八割ト云フヤウナコトデ指導シテ居ルト存ジテ居リマス

○橋本辰二郎君 處ガ、地方廳ニ於キマシテハ、實價ガアリマスト直グニ幾ラ持テト云フコトヲ指定致シテ來テ、稅額ノマダ決定セヌ前ニ公債ノ買取ヲ、而モ新タニ發行シタ公債ナケレバイカヌト云フヤウナコトヲ云ツテ強要スルノデ、非常ニ困ツテ居リマスガ、サウ云フ無理ノ起リナイヤウニ今後然ルベク一ツ御取計ヒヲ御願ヒ致シタイト思ヒマス

○國務大臣(石渡松太郎君) 宜シウゴザイマス、出來ルダケ無理ノ行カナイヤウニ計ラヒマス

○橋本辰二郎君 私ノ質問ハ是デ終リマス

○三浦新七君 私ノ質問ハ多少國稅ノ方ニモ關係シマスガ、主ニ地方稅ノ問題デアリマス、先ニ地方稅ノ稅制ノコトヲ御伺ヒシタイト思ヒマスガ、此ノ稅制ノ決ツタ時代ノコトヲ考ヘルト初メテ斯ウ云フ制度ヲヤツタノデ、此ノ通り持ツテ行クコトニハ、相當疑問ガアツタヤウニ聞イテ居リマス、其ノ後又時勢ガ大分違ツテ來テ居リマスノ

デ、此ノ還付稅若シクハ返付稅ト云フ  
制度ニ、其ノ後色々、稅制ガ時勢ニ應  
ジテ改正ニナツテ來マシタガ、此ノ通  
リテ當分ヤツテ行ケルト云フ御見込  
アリマセウカ、從ツテ今ノ還付稅ノ方  
ノ狀態ガドウ云フ風ニナツテ居ルカ、  
「アラス」ニナツテ居ルカ、「マイナス」  
ニナツテ居ルカ御伺ヒシマス。

○政府委員(瀧尾弘吉君) 御答へ申上  
ゲマス、只今ノ地方ノ稅制ハ、昭和十  
五年ノ國稅地方稅ヲ通ズル稅制改革ニ  
基イテ行ハレタノデアリマス、其ノ後  
段々ト時勢ノ狀態モ變ツテ居リマス  
シ、私共ト致シマシテモ、地方ノ財政  
ノ實情等ニ付キマシテハ考慮致シテ居  
ルノデアリマスガ、只今ノ處此ノ稅制  
ヲ根本的ニ改革スル考ハ致シテ居リマ  
セヌ、實情カラ申シマシテモ今日迄ノ  
處、地方分與稅分與金ノ狀態ハ、順調  
ニ行ツテ居ルト考ヘテ居リマス。

○三浦新七君 特別會計ノ實數ハ御分  
リニナツテ居リマセウカ

○政府委員(瀧尾弘吉君) 只今手許ニ  
數字ヲ持ツテ居リマセウカ、大體今日  
迄ノ狀態ヲ申上ゲマス、還付稅ハ御  
承知ノ如ク、受入レタモノヲ全部地方  
ニ廻スコトニナツテ居リマス、此  
ノ方ハ先ツ殘リハナイト思ツテ居リマ  
ス、配付稅ノ方ハ法制ノ建前カラ申シ  
マスレバ、若干積立テ得ルヤウナ形ニ  
ナツテ居リマスガ、是ハ最近ノ地方財  
政ノ實情ニ鑑ミマシテ、大體收入シタ  
モノハ全部使フト云フ建前デヤツテ居  
リマス、先ツ此ノ方モ殘リトシテ  
ハナイヤウナ狀況デアリマス。

○三浦新七君 次ニ御聽キシタイコト  
ハ、近頃地方ノ財政ガ名目上非常ニ大  
キナ數字ニ上ツテ居ル譯デアリマス  
ガ、其ノ大部分ハ國庫ノ方カラ、國家

ノ政策ヲ行フ爲ニ交付セラレル、其ノ  
金ヲ豫算ノ上ニ載セテ居ルヤウナ譯デ  
アリマスガ、其ノ以外ニ地方ノ財政ダ  
ケノ分ハドノ位アリマスカ、ソレノ御  
調ガアリマスカ、詰リソレヲ兩方合計  
シテ、國家ノ銘々ノ負擔ト云フ稅高ヲ  
勘定スル時ニ、チヨット見當ガ附カナ  
イノデアリマス、其ノ數字ガゴザイマ  
シタラ、後デモ結構デスガ、御知ラセ  
願ヒタイノデアリマス。

○政府委員(瀧尾弘吉君) 便宜、決算  
ノ出テ居リマス十八年度ニ付テ申上ゲ  
マス、地方團體全部ニ付テ申上ゲマ  
ス、歳入ノ總額ガ五十八億三千三百萬  
圓バカリデアリマス、其ノ中テ稅收入  
ガ十六億七千八百萬圓餘デアリマス、  
ソレカラ稅外收入ト致シマシテ、國或  
ハ縣ノ支出金ガ十三億二千三百萬圓餘  
デアリマス、ソレカラ公債ガ四億七千  
九百萬圓餘デアリマス、ソレカラ其ノ  
他ノ收入ハ二十三億五千百萬圓餘デ  
ゴザイマス。

○三浦新七君 サウシマスト、其ノ二  
十三億幾ラト云フモノノ中ニ國庫カラ  
廻ル金ガ入ツテ居ル譯デゴザイマス  
カ、詰リ國ノ財政カラ廻ツテ居ル分  
ハ、二十三億幾ラト云フモノノ中ニ入  
ツテ居ル譯デスカ

○政府委員(瀧尾弘吉君) 國カラ廻リ  
マス關係ノ經費ハ、分與金トシテ分與  
セラレルモノハ稅收入ノ方ニ入ツテ居  
リマス、ソレカラ補助金其ノ他ノモノ  
ハ、先程申シマシタ國或ハ縣ノ支出金  
ト云フモノノ中ニ入ツテ居リマス、其  
ノ他ノ收入ト申シマスルノハ、可ナリ  
大キナ事業關係ノ收入ガ此ノ方ニ入ツ  
テ居ルノデアリマス。

○三浦新七君 今テヨツト計算ガ出來  
マセヌデスケレドモ、相當地方ノ現在ノ

狀態ハ、地方ソレ自體ノ仕事ト云フヨリ  
ハ、寧ロ國家ノ機關トシテノ方ノ仕事  
ガ多クナツテ居ルヤウナ狀態、是ハマ  
ア、サウ云フヤウナ工合ニナラナケレ  
バナラヌ必要アルノデゴザイマセウ  
ガ、現時ノ狀態ニ於テハ、地方ハ地方  
トシテ相當ヤラナケレバナラヌ問題ガ  
澤山起ツテ來テ居ルヤウニ見テ居ル譯  
デアリマス、例ヘバ手近ナ所ヲ申シマ  
スト、市町村ノ方面ニ於テ生活必需品  
ノ確保ト云フヤウナ問題ニ付キマシテ  
ハ、是ハ其ノ運搬費ヲドウスルトカ、  
其ノ他色々方法ヲ盡スニ非ザレバ實  
際生活必需品ガ割當ニナツテモ手ニ入  
ラナイト云フヤウナ現狀ノデアリマ  
ス、サウ云フヤウナモノニ付テ特別  
支出ヲ要スル、補助金ヲ出ストカ運賃  
ヲ出ストカ云フヤウナ金ガ相當ニ要ル  
ヤウニ聞イテ居リマス譯デアリマス、  
サウ云フヤウナモノハ元々村ナリ、マア  
村ハ大シテ問題ハアリマセウガ、小サ  
ナ市ト云フヤウナモノニ付テハ、獨立  
シタ財源ヲ持ツテ居ルモノ極メテ僅カ  
ナモノデアリマス、ソコデ又主トシテ  
寄附金ト云フヤウナモノヲ補助ツテ居ル  
狀態ノデアリマス、殊ニ斯ウ云フ時  
勢ニナツテ參リマシテ、各地方ガ自  
ラ、多少是ヨリモ獨立シタ經濟ヲ取ラ  
ナケレバナラヌ、交通ノ便利ト云フヤ  
ウナモノガ遮斷サレル虞ガアルト云フ  
時代ニ於テハ、此ノ方ノ經費ハ相當增加  
スベキモノト思ハレルノデアリマス、此  
ノコトニ付テ今迄ノ狀態宜シト云  
フ御考デアルカ、若シソレデドウシテ  
モ足ラナイト云フヤウナ場合ニ於テハ  
地方債ヲ起スト云フコトニ付テ、モウ  
少シ自由ナ態度ヲ御執リニナル、斯ウ  
云フヤウナ御考ハナイデセウカ、實際  
其ノ點ハ困ツテ居ルヤウニ聞イテ居リ

マスガ如何デゴザイマセウカ

○政府委員(瀧尾弘吉君) 御答へ致シ  
マス、誠ニ御尤モ御質問ト拜承致シマ  
スガ、最近ノ地方團體ノ財政ノ關係カ  
ラ申シマスルト、何ト申シマシテモ戰  
争遂行ニ關係シタ經費ガ最も多額ヲ占  
メテ居ルノデアリマス、之ニ付キマシ  
ハ出來ルダケ國庫ノ方デモ補助等ノ途  
ヲ開キマシテ、財源ノ充足ニ努メテ居  
ル次第デアリマス、又一面ニ於キマシ  
テハ、先程チヨット觸レタコトデゴザイ  
マスガ、配付稅ノ分與等ニ於キマシテ  
モ、手一杯ニ分與シテ居ルト云フヤウ  
ナ狀況デゴザイマシテ、御話ノ通りニ  
地方團體ソレ自體ト致シマシテモ、ナ  
カナカ此ノ頃諸雜費ノ支出ハ困ツテ  
居ルノデス、一面ニ於テハ、御話ノ如  
ク色々寄附金ト云フ風ナ形ニ於テ市  
民或ハ町村民カラ經費ノ支出ヲ求メテ  
居ルト云フヤウナ實情モナキニシモ非  
ズ、斯様ニ存ジテ居ル次第デアリマ  
ス、寄附金ニ依リマシテ公共團體ノ經  
費ヲ處理スルト云フヤウナコトハ、モ  
ノニモ依リマスケレドモ、一般ノ稅收  
ノ入其ノ他ノ收入ヲ以テ賄フベキモノ  
ヲ、寄附金ヲ以テ賄フト云フ風ナコト  
ハ、是ハ遺憾ナ狀態アルト考ヘテ居  
リマス、從ヒマシテ、私共ト致シマシ  
テハ成ルベク左様ナコトノナイヤウニ  
指導スルヤウニ努メテ參リタイト思ツ  
テ居リマス、今回提案致シテ居リマス  
所ノ地方稅法中ノ改正ニ依リマシテ、  
市町村民稅等ニ付キマシテモ、若干ノ  
增收ヲ企圖致シテ居リマス點モ、一  
ツハサウ云フ風ナ點ヲ出來ルダケ是正  
シテ見タイト云フ風ナ氣持モゴザイマ  
シテ、提案ヲ致シテ居ルヤウナ次第デ  
アリマス、尙又、一面色々ト財政需要  
ガ殖エテ參リマスル爲ニ、公債等ノ起

債ト云フ風ナ問題モ考ヘナクテハナラ  
ヌ問題デゴザイマス、是ハ國家ノ資金  
計畫トモ睨ミ合セマシテ、地方債資金  
ノ充實ヲ、年々圖ツテ參ツテ居ル次第  
デゴザイマス、起債ノ方法等ニ付テ  
モ、色々面倒デアアルト云フ風ナ非難モ  
聞イテ居ルノデアリマスガ、最近ニ於  
キマシテハ、事務簡捷ノ趣旨ヲ以テマ  
シテ、市町村ノ起債ニ付キマシテハ、  
擧ゲテ之ヲ地方長官ニ委シテ居ル、起  
債ノ許可ニ付キマシテハ委セマシテ、  
成ルベク速カニ起債ノ目的ヲ達スルヤ  
ウニ致シテ居ルヤウナ次第デアリマ  
ス、御了承願ヒマス。

○三浦新七君 地方廳ニ委シテアルド  
云フケレドモ、實際聽イテ見マス、  
ドウモ地方長官ハソレヲヤツテ呉レナ  
イ狀態ニ在ル、ソレハ實際ノ狀態ヲ申  
上ゲマス、今ノ生活必需品ノ組合ト  
云フヤウナモノノ自由ニ動カスコトノ  
方法ハ、或ハ補助金ヲヤルカ、或ハソ  
レニハ東京ノ如クニ組合ニ出資スルト  
云フコトニ依ツテ相當ノ負擔ヲ背負フ  
ト云フコトニ付テハ、ドウシタツテ起  
債ノ方法ニ依ラザルヲ得ナイドラウト  
思フノデアリマス、ソレヲドウシテモ  
サウ云フヤウナコトハイケナイト云フ  
コトデ、起債ガ出來ナイ狀態ニ在ルノ  
ヲ二ツバカリ私ハ實例ヲ聞イテ居リマ  
ス、サウ云フヤウナ方ノコトハ、斯  
ウ云フ事情ニ應ジテ、適當ニ許スト云  
フヤウナ御方針ハナイモノダラウカ、  
ソコヲ邊ノ所ヲ伺ヒタイノデアリマス

○政府委員(瀧尾弘吉君) 簡々ノ具體  
的ナ事例ニ付テ御話デゴザイマスノ  
デ、或ハサウ云フコトモアラウカト思  
フノデアリマスガ、政府ト致シマシテ  
ハ國家ノ資金計畫ニ基キマシテ、各地  
方々々ソレソレノ資金ニ關スル計畫

ヲ立テマシテ、之ヲ地方廳ニ割當テマシテ、其ノ範圍内ニ於テ、市町村ニ關スルモノニ付キマシテハ、地方長官ガ許可スルト云フヤウニ致シテ居ルノデ、ゴザイマス、唯如何ナル事柄ニ付キマシテ起債ヲ認メテ行クカト云フヤウナコトニナリマス、相當又地方財政ノ監督ノ立場カラ申シマシテ、地方廳ト致シマシテモ、不要不急ノ事業ニ對シテ起債ヲ認メルト云フ風ナ點ガナイノデアリマス、又資材勞力ノ關係カラ致シマシテ、十分ニヤツテ行ケナイト云フ風ナ性質ノ仕事ニ付キマシテハ、起債ヲ認メテ行カナイト云フヤウニ、色色指導監督ノ立場カラ、彼此ト申シテ居ルコトモアラウカト思フノデアリマス、或ハ御話ノ如ク具體ノ場合ト致シマシテ、地方廳ノ取扱方ガウマクナイト云フ風ナコトモアラウカト存ジマスケレドモ、大體ノ方針ト致シマシテハ、資材勞力、或ハ又仕事ノ急不急ト云フ風ナ點ヲ勘案致シマシテ許可ヲ致シテ居ル次第デゴザイマス、成ルベク實際ノ實情ニ即シマシテ、適當ナ許可ヲ行ハレルヤウニ、我々ト致シマシテモ留意シテ參リタイト思ヒマス、尙地方ノ財政ノ問題ニ付キマシテハ、先程モ少シ言ヒ足ラナカッタカト思フノデゴザイマスガ、明年度ノ財政需要ト云フモノニ付キマシテハ、勿論的確ナ見透シモ附カナイ譯デゴザイマスガ、今日迄ノ地方財政ノ膨脹ノ推移ニ照シマシテ、相當ナ財政需要ガ增加スルモノト一應考ヘテ居リマス、之ニ基キマシテ、配付稅ノ分與ニ付キマシテモ、相當大幅ニ今度ハ増額セラレテ居リマスルシ、又之ガ分與ノ方法ニ付キマシテモ、今回提案致シマシタ分與稅法ノ改正ニ依リマシテ、財力ノ比較的惠マレ

テ居リマセヌヤウナ町村ニ對シマシテ、比較の手厚ク分與ガ行クヤウナ手直シモ致シテ居リマスノデ、先ヅ此ノ程度ノ取扱方ニ依リマシテ、明年度ノ財政需要ハ只今ノ處、先ヅ〳〵ヤツテ行ケルノデヤナイカト云フヤウニモ考ヘテ居リマスノデ、具體ノ取扱方等ニ付テハ十分留意シテ居リマスルガ、大雜把ノ話トシテハ、ソレ程困ルヤウナコトモナカウカト存ジテ居リマスノデ、御了承願ヒマス

○三浦新七君 先程ノ問題ニ付テ關聯ガアリマスガ、詰リ配付稅分付稅ト云フ問題ノ配付方法ハ、主トシテ其ノ土地ノ納稅負擔力ト人口ニ割當テラレテ、是ハドウモ、我々ニハドウ云フ數字カラ割リ出シタモノカ分ラナイ所カラ出テ居リマシテ、ソレハソレトシマシテ、サウ云フヤウナ場合ニ、近頃ノ狀態ノ人口ノ分布ガ非常ニ變ツテ來テ居ル、工場疎開、其ノ他ノ學童ノ疎開ハ大シタ人数デハアルマイガ、疎開其ノ他ノ事業ノ狀態カラシテ、人口ノ分布ガ相當遠ツテ來テ居ル、其ノ人口割ハドウ云フ工合ニナツテ居ルノデアリマスカ、矢張り此ノ條文ニ書イテアル通りニ、其ノ時ノ國勢調査ノ數字ニ依ツテオヤリニナツテ居ル、サウスルト、四年前ノ數字ヲ捕メハナケレバナラス、サウシテ今度、今年國勢調査ハ一時休止スルト、斯ウ云フ工合ニナツタ時ニハ、ソレハドウ云フヤウナ施策デ人口ヲ計算シテ行ク方法ヲ執ツテ居ラレルカ

ニシテ居リマス、從ヒマシテ、一般ノ分與ニ當リマシテハ、之ニ從ハザルヲ得ナイ狀況デアリマスガ、御話ノ如クニ、今日デハ人口ノ移動等モ可ナリアル譯デアリマスガ、都市或ハ町村ニ對スル配付稅ノ分與ニ當リマシテハ、地方ノ狀況ニ依リマシテ、實情ヲ斟酌シテ、分與額ヲ或程度調整スルコトガ出來ルヤウ、之ニ依リマスルト、人口ガ非常ニ殖エルト云フ風ナ特別ノ狀況ノ下ニアリマシテハ、特ニ其ノ狀況ヲ斟酌シテ、若干分與ニ手加減ヲ加ヘルト云フ途ガ開カレテ居リマスノデ、只今ノ處、之ヲ運用シテ行ク以外ニハ途ハナイト思フノデアリマス

○三浦新七君 ソレデ公平ガ保テルト言ヒマスカ、實際ノ狀況ニ合フコトガ出來ルト云フ御見込デスカ

○政府委員(瀧尾弘吉君) 現在ノ程度ノコトデアリマスルナラバ、是デ大シタ差支モ起ラナイノデヤナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○内田重成君 只今ノ三浦委員ノ御尋ニナツタコトハ、私モ伺ハムトシテ居ツタ所デアリマスガ、大體分リマシタカラ、餘程省略致シマスガ、先程御話ノ地方財政需要ノ増加ニ伴ツテ、地方ニ於テ事業ノ遂行ノ爲ニ、寄付金ヲ以テ之ヲ完遂スルト云フヤウナ狀況ガ相當ニアルヤウニ見受ケルノデアリマシテ、是ハ頗ル地方ニ於ケル難物デアリデアリマスガ、之ニ對シテ政府ハ何等カノ寄付金ニ依ル事業ノ完遂ニ付テノ監督ヲナサル、ヤウナ方針ヲ只今御執リニナツテ居ルノデヤナイカトモ思フノデアリマスルガ、ソレハ此ノ儘地方ニ御委セニナツテ居ルノデアリマスカ、又ハ之ノ監督ヲドウ云フ風ニカナサツテ居ルノデアリマスカ、此ノ點一

ツ伺ヒタイ

○政府委員(瀧尾弘吉君) 御答(申上)ゲマス、寄付金ト云フ問題ニ付キマシテモ、寄付金ニ依リマシテハ、格別差支ナイモノモアルカト心得テ居ルノデアリマスガ、貧窮ナ町村等ニナリマスト、苦シ紛レニ寄付金ノ募集ヲヤツテ、一般ノ財源ヲ以テ支辨スベキモノデアリニモ拘ラズ、左様ナ措置ニ出ルト云フ事例ガ往々ニシテゴザイマスルガ、之ニ付キマシテハ從來トモ、地方長官ニ對シマシテ、之ガ抑制ト云フヤウナコトニ付テ留意ヲ怠ラナイヤウニ指導ハ致シテ居ル次第デアリマスガ、未ダニ以テ之ガ絶滅ヲ致シテ居リマセヌコトハ、私共モ遺憾ニ存ジテ居ル點デゴザイマス、唯昨年モ實質的ニハ地方稅デアリマス所ノ三收益稅ノ大幅ノ引上ト云フコトモゴザイマシタシ、又分與稅ノ分與ニ當リマシテモ、先程申上ゲマシタ如ク、手一杯ニ之ヲ増額致シマシテ、地方ニ分與シテ居ルト云フヤウナコトモ致シテ居リマスルシ、更ニ又今回提案致シマシタ市町村民稅ノ引上ト云フヤウナ方途モ講ジテ居リマスノデ、斯様ナ機會アル毎ニ地方ノ財政計畫ヲ檢討致サセマシテ、寄付金ニ財源ヲ求メテ居ルモノニ付テハ、極力之ヲ抑制スルヤウニ致シテ居ルノデアリマスガ、今後モ此ノ方針ヲ堅持シテ參リタイト思ツテ居リマス

源トシテ指摘セラル、所ノモノガ、只今實行ニナラズトモ、左様ナ御考ノモノガアリマスカドウカ、ソレヲ伺ヒタイ

○政府委員(瀧尾弘吉君) 只今ノ處、現在與ヘラレテ居リマス所ノ各種ノ財源付與、即チ或ハ補助ニ依リマスルカ、或ハ配付稅ノ分與ニ當ツテ考慮致シマスルカ云フ風ナ、現在既ニ與ヘラレテ居ル方途以外ニ格別ノモノモ計畫シテ居ルモノハゴザイマセヌ

○内田重成君 地方債ハ從來相當抑制サレテ參ツテ居ルノデアリマスルガ、是ハ地方債ニ付テ抑制ノ方針ト云フモノハ、ドウ云フ所ニ御置キニナツテ居ルカ、ナカ〳〵此ノ機會ハムヅカシクナツテ居ルノデアリマスルガ、只今地方ノ事業ノ、戰時ニ於テハ、殊ニ緊急對策、年度ノ半ニ於テモ行ハレル、斯ウ云フ場合ニ於テハ、ドウシテモ地方債ニ依ル外ニハ仕様がナイト云フヤウナ場合ニ、相當手數ガ掛ル、日數ヲ經ナケレバ許可ニナラヌト云フヤウナ狀態デアリマスガ、是ハ矢張り地方ニハ方針ガ指示シテアル譯デアリマスカ、其ノ點ヲ一ツ伺ヒタイ

○政府委員(瀧尾弘吉君) 戰爭遂行ノ途上ニ於キマシテ、國ニ於テモ地方ニ於テモ、相當ノ經費ガ要ル譯デアリマスルガ、地方債ガ無闇ニ膨脹致シマスルト云フコトハ、是ハ國全體ノ財政計畫ノ上カラ申シマシテ、影響ノ多イコトデアリマスルノデ、大體一定ノ方針ヲ以テマシテ、地方債ノ許可ニ付テハ臨ンデ居ル譯デアリマス、大雜把ノコトヲ申上ゲマスレバ、何ト申シマシテモ今日デハ、戰爭遂行上缺タベカラザル事業ニ付テハ、之ヲ優先的ニ考ヘテ行カナケレバナラスト、所謂不要不急ノ

起債ノ如キハ、嚴ニ抑制スルト云フ方  
針ヲ以テ臨ンデ居リマス、ソレカラ國  
ノ全體ノ資金計畫、關係ガゴザイマス  
ルノデ、地方資金ニ對シマシテハ、矢  
張り一定ノ枠ヲ定メマシテ、此ノ範圍  
内デ、賄ツテ行クト云フ風ニモ致シテ居  
リマス、ソレカラ又資材努力等ノ關係  
ハラ致シマシテ、如何ニ地方テハヤリ  
タイ仕事デアリマシテモ、斯ウ云フ面  
ニ於テ十分ニ消化シテ行クコトガ出來  
ナイヤウナモノニ付キマシテハ、矢張  
リ之ニ即應シテ起債ノ抑制ト云フコト  
ヲ致シテ居リマス

イマスルノデ、此ノ彈力性ヲ一部三收  
益稅ノ上ニ存置致シマスル爲ニ、伸縮  
性ヲ與ヘマシタノデ、結局地方團體ノ  
地方財源ニ不足ヲ生ジマスル場合ニ  
ハ、其ノ財源ヲ、此ノ三稅ニ求メルト  
云フコトガ考ヘラレマスルノデ、現在  
地方稅法上ニ定メラレテ居リマスル所  
ノ府縣ガ百分ノ百、市町村ガ百分ノ二  
百、標準率ヲ超過シテ課稅スル者モア  
ル課稅ゴザイマス、其ノ狀況ヲ今例參  
考迄ニ申上ゲマスレバ、府縣ハ特別ノ  
際ヲ除キマシテ、大體標準率ニ依ツテ  
ヤツテ居ルト思ヒマス、唯稅源ノ偏在  
ノ甚ダシイ町村ニ於キマシテハ、地域  
的ニ相當ノ超過課稅ヲ見テ居ル次第デ  
アリマスガ、政府ト致シマシテハ分與  
稅制ニ依リ、財政調整ノ機能ヲ出來ル  
限リ發揮致シマスル共ニ、一面ニ於  
テ地方財源ノ擴充強化ニ努メマシテ、  
出來ルケケ箇々ノ團體ノ超過課稅ノ減  
少ヲ圖ツテ居ルノガ、今日ノ實情デゴ  
ザイマス、即チ本年度當初ノ豫算ニ於  
ケル狀況ヲ申上ゲマス、所謂制限外  
課稅、超過課稅ヲ計畫致シテ居リマシ  
タ市町村ガ、百八十九市、九千三百三  
十一町村ニ及ンデ居ツタノデアリマ  
ス、其ノ課率ハ二百カラ千以上ニ迄達  
シテ居ルモノモゴザイマシタ、之ニ對  
シマシテ本年度カラ三收益稅ノ本稅ヲ  
大幅ニ引上ゲマシタコト、又配付稅ノ  
増額分與、或ハ又青年學校負擔區分  
ノ改正ト云フ風ニ、地方財源ヲ若干  
擴充致シマシタノデ、其ノ機會ニ於テ  
マシテ出來ルケケ、此ノ課率ノ低下ヲ  
圖ツタノデアリマス、其ノ結果、超過  
課稅ノ市町村ハ、市ニ致シマシテ六十  
二、町村ガ二千九百云フ風ニ減少致シ  
タノデアリマスシテ、而モ百分ノ五百  
以上ノ高率ノ課稅ヲ致シテ居リマシ

タ、千六百餘ノ市町村ハ、今日デハ概  
ネ四百以下ニ下ゲテ居ルヤウナ狀況  
アリマス、此ノ三稅附加稅ノ超過課稅  
ニ關スル、政府ノ指導方針ト致シマシ  
テハ、先程申上ゲマシタ通り、三稅ヲ  
地方ノ中心財源トシテ、之ニ若干ノ伸  
縮稅ヲ與ヘマシタ、現行稅制ノ建前  
上、全然超過課稅ヲ認メナイト云フ譯  
ニハ參ラナイト思フノデアリマス、地  
方稅ノ性質ニ鑑ミマシテ、又臨時財源  
ノ調達上、必要ナル場合ニ限リマシ  
テ、即チ特別ナル受益事業ヲ行フ場合  
デアルトカ、或ハ災害、傳染病等ノ爲  
ニ、臨時ニ支出ヲ要スル場合等ニ限ッ  
テ、之ヲ認メマシテ、一般的ノ財源調  
達ノ方法トシテハ、成ルベシ此ノ標準  
率ヲ超過スルヤウナ課稅ハ、認メナイ  
ヤウナ方針ヲ以テ指導シ監督ヲシテ參  
リタイト考ヘテ居ル次第デゴザイマ  
ス

○内田重成君 國稅ノ諸稅ハ總テ議會  
ノ協贊ヲ經テ、法律トシテ行ハル、ノ  
デ、檢討ノ機會モアリマスガ、地方稅  
ノ附加稅ニ付テハ任意ニ地方團體ノ意  
思ニ依ツテ、制限外ノ課稅ガ行ハレ、  
地方ニ依ツテハ甚ダ高率ノ負擔ヲサセ  
ラレテ居ルヤウデアリマス、政府デハ  
ドウ云フ方針デ地方限リノ、増稅ノ點  
ニ付テ、監督シテ居ラレマスカ、今日  
ノヤウニ國稅ガ屢次ニ増稅サレマシタ  
トトナリマシテハ、國民ノ負擔ノ均衝  
上ニ於テ、適當デナイト考ヘルノデア  
リマスガ、此ノ地方稅制限外ノ課稅ニ  
付キマシテハ、政府ノ監督ニ付キマシ  
テ御話ヲ願ヒタイト思ヒマス

規定ヲ設ケテ、新興所得階級ト申シマ  
スカ、サウ云フ階級カラ徵收スルト云  
フヤウナ方法ハ案出ノ出來ヌモノダラ  
ウカ、ドウデアリマセウカト云フコト  
ヲ感ズルノデアリマス、イツノ平等割  
デ取レバ、寧ロ宜イノデハナイカト云  
フヤウナ感ジテ起スノデアリマス、此  
ノ點ハドウ云フ風ニ、何レ色々御研究  
ニ相成ツタコトト思ヒマスガ、國稅ニ  
付キマシテ大藏當局カラモ承ツタノデ  
アリマスガ、地方稅ニ付キマシテ一應  
承ル必要ガアルト思フノデアリマス、  
既ニ御說明ニナツテ、私ノ不在中ニ、  
缺席中ニ御話ガアツタカモ知レマセヌ  
ガ、マダ速記録等モ拜見スルコトガ出  
來マセヌノデ、更ニ伺ヒタイト思ヒマ  
ス

○政府委員(藤尾弘吉君) 御答ヘ申上  
ゲマス、現在國民所得ノ分布ノ狀態ニ  
鑑ミマシテ、所謂新興所得階級ノ負擔  
ガ比較的低位ト云フヤウナコトハ、屢  
論議セラレテ居ル所デゴザイマス、國  
稅ノ方ニ於キマシテモ極力其ノ負擔ノ  
捕捉ニ努メテ居ル次第デアリマスガ、  
市町村民稅ノ如キ、一般住民ノ課稅  
ニ於キマシテ之ヲ考慮スルト云フコト  
ハ、誠ニ御尤モニモ存スル次第デアリ  
マス、御承知ノ通り市町村民稅ハ、市  
町村ノ負擔ヲ住民カ漏レナク分任スル  
ト云フ地方自治ノ根本理念ヲ稅制ノ上  
ニ現ハサウトシテ創設セラレタモノデ  
アリマス點ニ鑑ミマシテ、國民ノ所  
得カ一般ニ増加シ、又市町村ノ戰爭關  
係ノ經費カ著シク増加シタ今日、住民  
全部ガ或程度ノ負擔ヲ分任スルコトヲ  
適當ト考ヘマシテ、今回市町村民稅ノ  
引上ゲヲ行ハムトスル次第デアリマ  
ス、此ノ引上ゲヲ賦課總額ノ限度デア  
リマスル所ノ、一人當リ平均額ノ五割

程度ト致シマシテ、一人當リノ最高限  
度ハ之ヲ引上ゲナイ、現在ノ儘ニ據エ  
置クコトト致シマシタノハ、只今申シ  
マシタ如ク、一般住民ノ負擔ノ増徴ヲ  
目的ト致スル點ガアルカラデゴザイマ  
ス、併シナガラ最高納稅者ノ負擔カ最  
高ノ稅率迄達シテ居ラナカツタリ、或  
ハ最低、又ハ所謂下層ノ負擔ガ現在著  
シク低位ト云フヤウナ場合、殊ニ又勞  
務者階級等ノ人口ガ最近激増シタ市町  
村等ニ於キマシテハ、今度ノ引上ノ結  
果ガ、或ハ上層部、或ハ從來カラズツ  
ト土著シテ居リマス所ノ住民ノ上ニ負  
擔ヲ増スヤウナ結果ニナラヌトモ限リ  
マセヌ、是デハ困ル、今回市町村民稅  
改正後ノ賦課ノ方法ニ付キマシテハ、  
只今平等割ト云フヤウナ話ガゴザイマ  
シタガ、或ハ最低ノ課稅額ヲ相當引上  
ゲサセマスルトカ、或ハ課稅ニ付キマ  
シテ、色々等級ヲ設ケテ居ルヤウナ事  
例モゴザイマス、此ノ課稅階級ノ簡素  
化ヲ圖リマスルトカ、或ハ又一部ノ御說  
ノヤウニ平等割ノ方法ヲ講ズルトカ云  
フヤウナ、其ノ地方々々ノ實情ニ應ジ  
マシテ、適當ナ方法ニ依リマシテ、努  
メテ一般、就中大衆新興所得階級ノ負  
擔ヲ増徴スル結果トナルヤウニ指導シ  
テ參リタイト、斯様ナ考ヲ致シテ居ル  
ノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ  
ハ、色々御意見モアツタノデアリマス  
ガ、此ノ趣旨ヲ實施スルニ當リマシ  
テ、十分ニ地方ニ徹底スルヤウニ致シ  
テ參リタイト考ヘテ居ル次第デアリマ  
ス

○政府委員(藤尾弘吉君) 御答ヘ申上  
ゲマス、現在國民所得ノ分布ノ狀態ニ  
鑑ミマシテ、所謂新興所得階級ノ負擔  
ガ比較的低位ト云フヤウナコトハ、屢  
論議セラレテ居ル所デゴザイマス、國  
稅ノ方ニ於キマシテモ極力其ノ負擔ノ  
捕捉ニ努メテ居ル次第デアリマスガ、  
市町村民稅ノ如キ、一般住民ノ課稅  
ニ於キマシテ之ヲ考慮スルト云フコト  
ハ、誠ニ御尤モニモ存スル次第デアリ  
マス、御承知ノ通り市町村民稅ハ、市  
町村ノ負擔ヲ住民カ漏レナク分任スル  
ト云フ地方自治ノ根本理念ヲ稅制ノ上  
ニ現ハサウトシテ創設セラレタモノデ  
アリマス點ニ鑑ミマシテ、國民ノ所  
得カ一般ニ増加シ、又市町村ノ戰爭關  
係ノ經費カ著シク増加シタ今日、住民  
全部ガ或程度ノ負擔ヲ分任スルコトヲ  
適當ト考ヘマシテ、今回市町村民稅ノ  
引上ゲヲ行ハムトスル次第デアリマ  
ス、此ノ引上ゲヲ賦課總額ノ限度デア  
リマスル所ノ、一人當リ平均額ノ五割

○内田重成君 終リマシタ  
○委員長(伯崎林傳太郎君) 此ノ邊デ  
如何デセウカ、モウ質問ハ御アリニナ  
ラナイモノト認メテ宜シウゴザイマス  
カ

第四部第八類 所得稅法外十六法律中改正法律案特別委員會議事速記第五號



〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(佐藤林傳太郎君) 御異議ガナケレバ所得稅外十六件ノ改正法律案並ニ地方稅法及地方分與稅法中改正法律案、此ノ兩者ヲ一括シテ、全部問題ト致シマシテ討論ニ入りマス、御通告ニ依リマシテ下條君

○下條慶壽君

問題トナツテ居リマスル増稅案ニ付キマシテ、私ノ意見ヲ申述ベテ、態度ヲ表明致シタイト存ジマス、先ヅ所得稅法外十六法律ノ改正ニ付キマシテ述ベテ見タイト思ヒマス、其ノ法律ノ主タル目的タル増稅ニ當リマシテ、此ノ稅種ノ選擇ガ分類所得稅、法人稅、或ハ特別法人稅、通行稅、酒稅、入場稅、此ノ種類ニ限ツタコトハ誠ニ適當ナルト考ヘルノデアリマス、特ニ綜合所得稅ノ増稅ヲシナカスツタト云フ點ニ付テハ、私ハ大ニ贊意ヲ表スル者デアリマス、元來大藏當局ノ御說明ニ依リマスと云フト、綜合所得稅ト分類所得稅トハ一體ヲ成シテ居ルト云フ御說明デアアルノデアリマス、私ハ必ズシモ贊成致シマセヌケレドモ、サウ云フ說明デアリマスルガ、其ノ說明ニ依リマスと、負擔ノ均衡ヲ圖ル上カラ申シマスレバ、分類所得稅ト綜合所得稅ト同時ニ増稅シナケレバナラヌ理論の結果ニナルト思フノデアリマス、然ルニ今同綜合所得稅ニ付テハ、唯分類所得稅ヲニ付テ租稅ノ増徵ヲ圖ツタト云フノハ、是ハ綜合所得稅ニ付キマシテハ、累次ノ増稅ニ依リマシテ負擔ノ餘地ガ甚ダ乏シト云フコトガ主タル理由デアアルト思フノデアリマス、是ハ大藏當局モ既ニ御認メニナツタ點デアアルト思フノデアリマス、兎三角租稅ノ増徵ヲ圖ル時ニハ、能ク負擔ノ實際ヲ考慮シテ、其ノ計畫ヲ立テ

ベキモノデアリマス、其ノ意味ニ於キマテ、今回ノ如ク綜合所得稅ノ増徵ヲシナカスツタト云フ點ハ誠ニ適當デアアルト云フ風ニ考ヘルノデアリマス、次ニ此ノ租稅ノ増徵ノ場合ノ稅率ノ問題デアリマスルガ、原則トシテ一律二百分ノ三ヲ上ゲヨウト云フノデアリマスルガ、之ニ付テハ、理窟ヲ申セバ、負擔ガ必ズシモ一樣増加シナイト云フ憾ミハアルト思ヒマス、併シナガラ現在各稅率ノ間ノ格差ヲ保持シヨウト云フ點ト、稅務行政ノ便宜ノ關係カラ申シマスレバ、或ハ今日ノ場合已ムヲ得ナイト云フ風ニ考ヘルノデアリマス、今回ノ増稅ニ依リマシテ、新タニ租稅トシテ財源ガ十八億圓強出ルノデアリマスガ、此ノ程度ハドウカト云フ問題デアリマス、能ク世間デハ外國ノ例ヲ引キマス、總歲入ト租稅總額トノ比率、或ハ公債ト租稅トノ割合ト云フヤウナモノヲ見マシテ、マダ、我が國ニハ租稅ノ増徵率ガ大イニアルヤウニ論ズル者モナイデハナイノデアリマスルガ、是ハ誤ツタ見解デアアルト私ハ信ズルノデアリマス、實際租稅ノ負擔ノ實際ヲ能ク見マシテ、サウシテ其ノ上ニ於テ此ノ租稅ニ如何程度ヘ得ルカト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌ問題デアリマス、殊ニ戰時財政ノ如キモノニ於キマシテハ、非常ニ多額ナ經費ヲ必要トスルノデアリマシテ、無論其ノ一部トシテハ租稅ニ依ルコトハ當然デアリマスルガ、主トシテ專ラ其ノ大部分ト云フモノハ公債ニ依ル外ナイ、之ヲ租稅ニ得ヨウト云フコトハ間違ヒデアアル、公債支辨ニ主トシテ依ルベキモノデアアルト云フ風ニ私ハ考ヘルノデアリマス、此ノ意味ニ於キマシテ、今回ノ新ラシイ増稅ヲ十八億圓程度ニ止メタト云フコトハ、是ハ

大變賢明ナ考ヘ方デアアルト云フ風ニ思フノデアリマス、是ガ大體今回ノ改正ノ要旨デアリマスルガ、其ノ外改正案ニハ色々時局ニ適應シタ新ラシイ改正ノ點ガアルノデアリマス、何レモ適當デアアルト云フ風ニ考ヘマスルガ、就中、今回公稱資金五百萬圓以上ノ法人、大藏大臣ノ指定シタル法人ニ付キマシテ、所謂申告納稅制度ヲ採ツタト云フコトハ、是ハ確カニ一ツノ創意、進歩デアアルト云フ風ニ考ヘルノデアリマシテ、從來斯様ナ法人ニ付キマシテハ、一應當業者カラ納稅申告ガアリマシテモ、稅務署トノ間ノ話合ガナカ、繼ラナイ、隨分長クナル場合ガ多カツタヤウニ聞イテ居リマス、殊ニ其ノ專業ノ上ニ於キマシテ、收益ノ上ニ課稅部分ト免稅部分トガアル場合ニ於キマシテハ、サウ云フ査定ガ數年モ遅レルト云フコトハ屢、聞イテ居ツタノデアリマス、ソレガ今回兎ニ角當業者ノ申告ニ依ツテ取敢(ズ)納稅ガ濟マサレルト云フコトハ、是ハ當業者及ビ稅務署ニ取リマシテ、確カニ從來困難ノ感ジテ居ツタ點ガ解決サレル一助トナルト云フ風ニ考ヘルノデアリマシテ、誠ニ結構ナ案デアアルト思フノデアリマス、唯、此ノ申告納稅制度ヲ運用シテ行クコトニ付キマシテ、勅令案ヲ見タノデアリマスガ、其ノ點ニ付テノ規定ガナイヤウデアリマスカラ、一言以下述ベタイト思ヒマスガ、一應納稅ガ濟ムコト云フノデ安心ヲシテ、若シ査定ガ遅レルト云フヤウナコトニナリマスルト、數年後ニ於テ相當多額ナ追徵ガアルト云フヤウナコトガアツタナラバ、是ハ當業者トシテモ甚ダ困ル點デアラウト思ヒマス、是ハ或ハ納稅ガ終ツタナラバ、半年トカ或ハ一年内ニ査定ヲ終ルトカ云

フヤウナ期限ヲ附ケナイト云フト、兎ニ角今日稅務署ガ人手不足デ、甚ダ斯ウ云フ點ガ取活ヲ缺クヤウニ考ヘラレル場合デアリマスルカラ、是非トモ斯ウ云フ査定ニ付キマシテハ、期限ヲ附ケルヤウニ御心配ヲ願ヒタイト云フ風ニ考ヘルノデアリマス、斯様ナ制度ハ私共役人ヲシテ居ツタ經驗モアリマスルガ、兎ニ角不確定ナル稅額ヲ納付セシムルト云フヤウナ考ヘ方ハ、是ハマア役人離レノシタ考ヘ方デアリマシテ、確カニ一ツノ勇斷デアアルト云フ風ニ思フノデアリマス、而シテ斯様ナコトハ此ノ稅務行政ノ上ニ於キマシテモ、マダマダ澤山アルト云フ風ニ思フノデアリマシテ、例(バ)私ガ一二指摘シタ點モアリマスルガ、例ノ「フンク」博士ノ新財政政策ノ一ツノ租稅證券ノ如キモ、一ツノ考ヘ方デアアルト思フノデアリマス、其ノ他色々アラウト思ヒマス、更ニ法律ノ改正バカリデナク、稅務行政ノ運用ノ上ニ於キマシテモ、改善スベキ點モ多イト云フ風ニ思フノデアリマシテ、是等ニ付キマシテハ、當局者ニ於テ十分御考慮ヲ願ヒタイト云フコトヲ申シ述ベルノデアリマス、要スルニ、此ノ所得稅外十六法律ノ改正案ニ付キマシテハ、私ハ原案通り可決スベキモノデアアルト云フ風ニ考ヘルノデアリマス、次ニ地方稅法及地方分與稅法ノ改正ノ法律ニ付テテ、マ

ス、之ニ付キマシテハ當局カラ說明ヲ同ツテ、能ク了解ヲ致シタノデアリマスルガ、只今内田委員カラモ御質問ガアツタ所謂住民稅ノ問題、市町村民稅ノ問題デアリマスルガ、市町村民稅ノ點ニ付キマシテハ、從來兎角問題ガアツタ、而シテ是ガ御承知ノ通り隣保消化ノ貯蓄ノ基礎ニナルヤウナ關係モアリマシテ、色々疑問ヲ持タレテ居ツタノデアリマスルガ、更ニ五割増加ヲ見ルコトニナリマスルト云フト、又其ノ問題ガ激シクナルヤウナ懸念モナイデハナイノデアリマス、只今隣尾地方局長カラノ御答辯ニ依リマシテ、斯ウ云フ點ニ付テモ十分注意セラレルト云フコトヲ聽キマシテ、其ノ點ニ付キマシテハ多少懸念ガ除カレルカト思ヒマスガ、尙其ノ點ニ付キマシテハ、十分地方廳ニ對スル指導ヲ徹底サレマシテ、負擔ノ均衡ヲ得ルヤウニ御配慮ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、尙地方分與稅ヲ關係市町村三分與スル場合ニ於キマシテ、現在國家ノ要請ニ基テ事業ガ市町村ニ相當多イノデアリマス、例(バ)防空對策、或ハ山林伐採ノ如キモノハ、是ハ前ニ私モ質問ヲ致シマシタガ、サウ云フ點ノ事務ニ付キマシテハ、關係地方ニ對シテ補助トカ云フヤウナコトモ無論アルト思ヒマスガ、分與稅ノ方面カラ致シマシテモ、十分財源ヲ與ヘルヤウニ御配慮ニ預リタイト思フノデアリマス、尙我々ハ、此ノ地方ノ此ノ關係ノ財源ニ付キマシテハ、斯様ニ審議スル機會ヲ與ヘラレテ居リマスルガ、是等ガ使ハレル地方費ノ側ニ付キマシテハ、何等之ニ對シテ發言ノ機會ガナイ、是ハ偏(ヘ)内務省及關係官廳ノ監督ニ信賴スル外ハナイノデアリマス、動モスレバ時局ニ便乘シテ、地方費ガ濫費セラレルコトヲ非常ニ憂ヘテ居ル一人デアリマスガ、ドウゾ内務省初メ關係省ニ於キマシテハ、此ノ地方費ノ使途ニ付キマシテハ、十分嚴重ニ御監督ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、是等ノ意見ヲ以テマシテ、此ノ地方稅法及地方分與稅法中改正案ニ付キマシテ贊意ヲ表スル者デアリマス、

以上、私ノ意見ヲ終リマシタ

○委員長 伯樂林博太郎君 橋本君

○橋本君 本増稅案ニ依ル國庫ノ收入ナルモノハ、戰爭遂行ノ職費ノ一部ニ充當スルモノデアリマシテ、國民ハ敢テ其ノ負擔ヲ辭スルモノデハナイ、否、寧ろ進んで之ニ應ズルニ咨カデナイト信ズルデアリマス、又關係

イノデアリマス、又是等ノ階層ハ公債ノ消化ニモ何等協力ヲシテ居ル所ガナイト見ルデアリマス、サウシテ有ルニ委セマシテ物ヲ漁リ、其ノ結果自然

ガ多年鍊磨セル所ノ課稅技術ヲ應用致シマシテ、少クとも、浮動購買力ノ吸收面ナリトモ見ルベキ結果ヲ擧ゲマシ

ルモノデアリト私ハ信ジマス、配給ノ不十分ナルモノハ、物ガ足りナイカラデアルト思ハレルデアリマス、併し物

トニ外ナラヌト云ウテモ可ナリデアリマス、戰鬥増強ナルモノハ、單り軍需品ノ生産ノミデハナイデアリマス、

法文ノ改正ナルモノハ、大藏省ノ過去ノ體験上ヨリ致シマシテ發足セル所ノ專務上ノ便宜ヲ簡素化ニ關スル簡條整理デアリマシテ、是亦何等異議ナクデアリマス、唯此ノ機會ニ於キマシテ、一事、當局ノ御注意ヲ喚起シタコトガアリマス、ソレハ當委員會ニ於キマシテモ、相當論議セラレタモノデアリマス、尙此ノ機會ニ於キマシテ、一言附加ヘルコトノ決シテ徒爾デナイト云フコトヲ信ズルデアリマス、ソレハ外デモナクデアリマス、所謂浮動購買力ノ吸收ト課稅ノ公平ト云フ問題デアルデアリマス、過去幾十年間國民ノ中堅階層デアリ、又國費負擔ノ一大支柱デアリマシタ所ノ中小商工業者、所謂中産階級ナル者ハ支那黨變遷後、企業整備及ビ其ノ他

ノ原因ニ依リマシテ、傳來ノ職業ヲ失ヒ、今や殆ど没落ニ瀕シテ居ル者ガ多イノデアリマス、而シテ之ニ代リマシテ、新々ニ擡頭興興セル者ニ、即チ職工、熟練者等ヨリ成ル所ノ新興所得階層ナルモノガアルデアリマス、是等階層ノ多クハ多額ノ收入、甚ダシキ

ハ或ハ大臣級以上ノ收入ヲ得テ居ル者モアルカモ測リ難イと思フデアリマス、然ルニ是等ノ階層ニ對スル所ノ調脊捕提ナルモノガ、甚ダ困難ナル理由ト云フコトデ、無論免稅デハアリマセ

バ、事實ニ於テ課稅ヲ受ケテ居ラナ

亡シタ場合ニ於ケル所ノ法律關係ヲ

物價ノ騰貴ニ拍車ヲ掛ケマシテ、インフレヲ誘發致シマシテ、我が經濟界ヲ混亂ニ陥レ、財政上ニモ非常ナ悪影響ヲ與ヘルノ虞ガ十分ナルデアリマス、是等ノ新興所得階層ノ中、就中自由労働者、小運送業者、商人及關仲買等ハ、實ハ過當ナル所ノ利益ヲ擧ゲテ居リマシテ、浪費ヲ常ニ致シテ居

ルデアリマス、是等ノ者ニ對シマシテ、調査ノ困難ナルヨリシテ、全然課稅ヲ負擔セシムルコトノ出來ナイト云フコトハ、實ニ是ハ稅ノ原則デアル所ノ課稅ノ公平ヲ缺クノ最モ甚ダシキモノト云フハナケレバ、ナリマセヌ、而モ是等ノ階層ノ占ムル所ノ、國民所得ノ類ト云フモノハ決シテ少額デナイトデアリマス、是ハ輕々シク看ルコトハ出來ナイノデアリマス、之ヲ等閑ニ付スルニ於キマシテハ、當ニ國庫ノ收入ニ大影響ガアルバカリデアリマセヌ、延

後ニ聊カ是ハ脫線的ノ嫌ヒハアリマス

ハ、今昔モ變リハアリマセヌ、全ク

ハ、最モ眞劍ナル問題デアリマス、徒

重ナル結果ヲ波及スルノ虞ガ十分アルデアリマス、財政ノ運用圓滑ヲ阻害スルノ虞モ敢テナイトハ言ハレナイノデアリマス、然ルニ本増稅案審議中ノ質疑應答ニ徴シマスレバ、是等新興所得階層ノ浮動購買力ノ吸收策ノ如キハ、實ニ微温的不徹底極マルモノデアリマシテ、寧ろ何等見ルベキモノナシト云フコトノ適評ナルニ如カズと思フ

ノデアリマス、若シ新興所得階層ノ所得ヲ補提調査スルコトノ困難カラ致シマシテ、課稅ノ對象トスルコトガ出來ナイ所ノ事情ガアリト致シマシタナラ

バ、何等カノ行政處分若シタハ大藏當局

トハ畢竟スルニ配給ノ不十分ヨリ生ズ

ハ、其ノ甚ダシキモノヲ見ルノデアリマス、實ニ是ハ憂慮スベキ事態デアルト信ジマス、關ノ横行ト云フコ

明カニセラレマシタコトニ付キマシテ、満足ノ意ヲ表シマス

○子爵梅園篤彦君 私モ本案ニ賛成ヲ致ス者デアリマス、何レモ戰時下、機宜ニ適シタ御提案ト存ジマス、就キマシテハ、玆ニ一二ノ希望ヲ申述ベマシテ、サウシテ本案ニ賛成致シタイト思ヒマス、其ノ第一點ハ、只今橋本委員カラ縷々御述ニナリマシタ所ノ、新興所得階級ノ浮動購買力ノ吸收ト云フ點デアリマス、既ニ政府ハ於カレマシテハ國民貯蓄、或ハ源泉課稅、或ハ勝札ノ發行ト云フヤウナ、種々御苦心ノアル所ヲ承テ居リマスルガ、何ト申シマシテモ、先程橋本委員ノ仰シヤイマシタ通りニ、至難ナル問題デアリマスルカラ、此ノ上トモ此ノ新興所得階級ノ補捉ト云フ點ニ付キマシテ、格段ノ御研究ヲ御遂ゲニナリマシテ、其ノ目的達成ニ邁進セラレムコトヲ、先ヅ第一ニ希望致ス次第デアリマス、次ニ其ノ第二點ハ最近物ヲバ偏重スルト云フ思想ガ澎湃トシテ起ツテ參ツタコトハ、御承知ノ通りデアリマス、從ツテ通貨ヲ輕視スルト云フ風潮ガ是亦盛ニナツテ參ツタヤウデアリマス、是ハ實ニ由タシイ問題デアルト私ハ思ヒマス、仍テ此ノ通貨輕視ニ對スル御對策ニ付キマシテハ、今後十分ニ研究ヲ重ネラレ、適切ナル施策ヲ御實施アラムコトヲ、特ニ希望スル次第デアリマス、第三點ト致シマシテハ、今同ノ増稅ガ分類所得稅、酒稅、通行稅等ト云ツタヤウナ、或ハ又市町村稅ニ致シマシテモ、孰レモ國民大衆ヲバ目的ト致シテ居ル所ノ課稅デアリマスルカラシテ、之ガ査定徵收ニ當ラレマシテハ、十分ニ御考慮ヲ賜リマシテ、苟モ納稅者ニ接觸セラレマスル所ノ、末端機關

ニ於テハ、成ルベク特ニ懇切丁寧ヲ旨トセラレマシテ、苟モ不平不滿ノ起ラヌヤウニ豫メ御留意ガ願ヒタイト思ヒマス、此ノ三點ヲ希望致シマス、本案ニ賛成ヲ致ス次第デアリマス

○委員長(伯爵林博太郎君) 他ニ御發言ハゴザイマセヌカ、ソレデハ御發言モナイヤウデアリマスルカラ、是ヨリ採決ニ移リマス、所得稅法外十六法律中改正法律案、地方稅法及地方分與稅法中改正法律案、此ノ兩案、全部ヲ問題ト致シマス、此ノ兩案全部、原案通り可トスル方ノ御起立ヲ請ヒマス

(議員起立)  
○委員長(伯爵林博太郎君) 全會一致デゴザイマス、此ノ兩案ハ、之ニ依ツテ可決ニ相成リマシタ、是ニテ委員會ヲ散會致シマス

午後三時十九分散會  
出席者左ノ如シ  
委員長 伯爵林 博太郎君  
副委員長 男爵稻田 昌植君  
委員

- 公爵德川 家正君
- 侯爵筑波 藤鷹君
- 子爵松平 乘統君
- 子爵西尾 忠方君
- 子爵梅園 篤彦君
- 子爵安藤 信昭君
- 子爵本多 忠晃君
- 下條 康鷹君
- 内田 重成君
- 長 世吉君
- 男爵松平外郎鷹君
- 男爵近藤 滋彌君
- 男爵島津 忠彦君
- 三浦 新七君
- 黒田 英雄君
- 澤田 牛麿君

- 竹下 豐次君
- 井坂 孝君
- 千石興太郎君
- 橋本辰二郎君
- 佐々木長治君
- 國務大臣
- 大藏大臣 石渡莊太郎君
- 內務大臣 大達 茂雄君
- 政府委員
- 內務參與官 佐藤洋之助君
- 內務省地方局長 灘尾 弘吉君
- 大藏政務次官 小笠原三九郎君
- 大藏參與官 田村 秀吉君
- 大藏省主稅局長 田中 豐君
- 大藏書記官 平田敬一郎君

昭和二十年二月十三日印刷

昭和二十年二月十三日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局